

ラグビー選手のプレーに歓声



選手とパス交換を楽しむ児童＝岐阜市茜部新所、茜部小学校

トップ選抜 岐阜市の小学生が交流
良川競技場で2日に行 日仏ラグビーチャリティ
われる「バローグリー イマツチ2019」F

OR ALL復興」
(岐阜新聞社、岐阜放送後援)に出場する日本トップリーグ選抜の選手らが1日、岐阜市茜部新所の茜部小学校で児童と交流した。ラグビーに親しんでもらおうと同校が企画し、県協会の協力などで実現。デーブ・ディロン監督や、日和佐篤主将ら計25人が訪問し、全校児童約770人と触れ合った。

児童は、選手が披露するパスやタックルなど迫力あるプレーに目を輝かせ、歓声を上げて喜んだ。また、応援メッセージを寄せ書きした色紙を贈り、2日の試合に向けてエールを送った。

試合を見に行くという長谷川楓君(11)は「パスがきれいに渡っていて、プロのすごさを感じた。試合は(トップリーグ選抜が)勝つと思う」と声を弾ませていた。